

経済社会情勢等の変化

事業採択時1997(H9)年

・事業規模	約 3. 6ha
・総事業費	194億円(当初概算)
・事業完了	2008年(平成20年度)
・人 口	260. 2万人
・公園数	867 カ所
・1人あたり都市公園面積	3. 27 m ² /人
・市の公園事業費	304億円



現在2011(H23)年

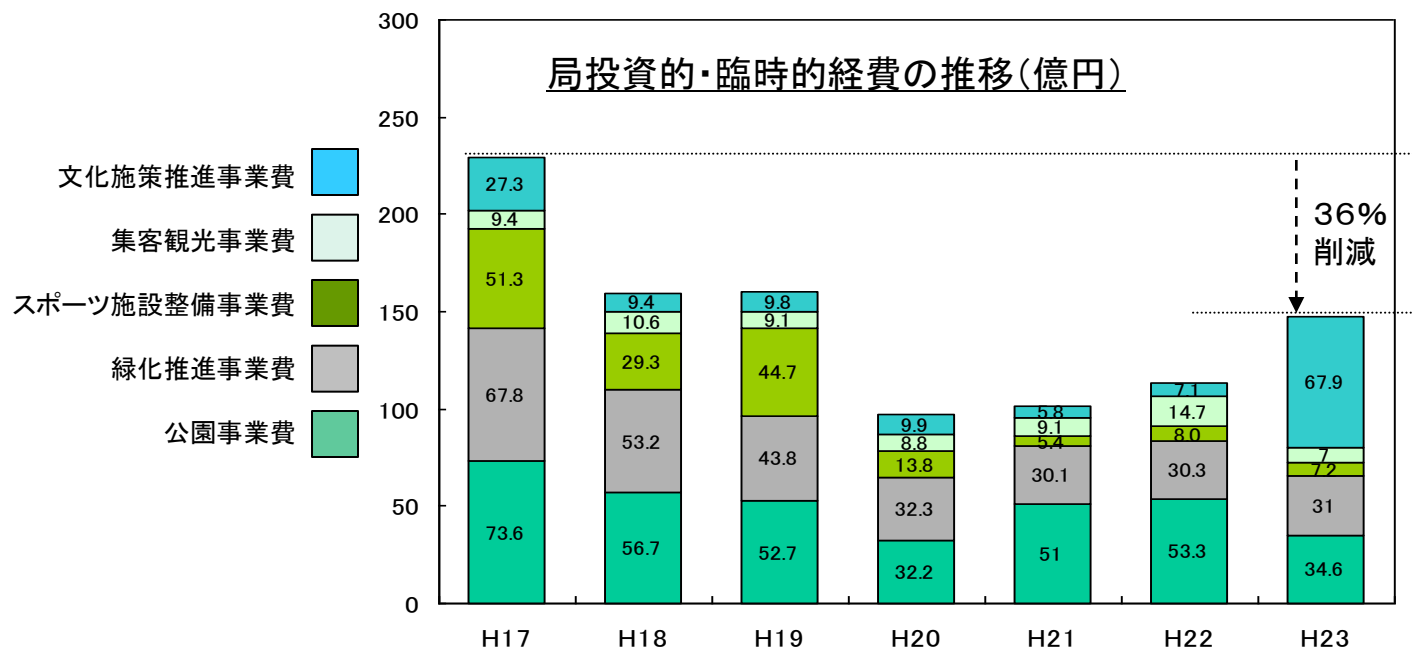
・事業規模	約 3. 7ha
・総事業費	189億円
・事業完了	2013年(平成25年度)
・人 口	266. 5万人
・公園数	981 カ所
・1人あたり都市公園面積	3. 52 m ² /人
・市の公園事業費	35億円

事業採択した平成9年度に比べ、本市の公園事業費は大幅に減少しているが、一般の市民に供している区域では大勢の人々に利用されており、残る拡張地の早期整備完了が待たれている。

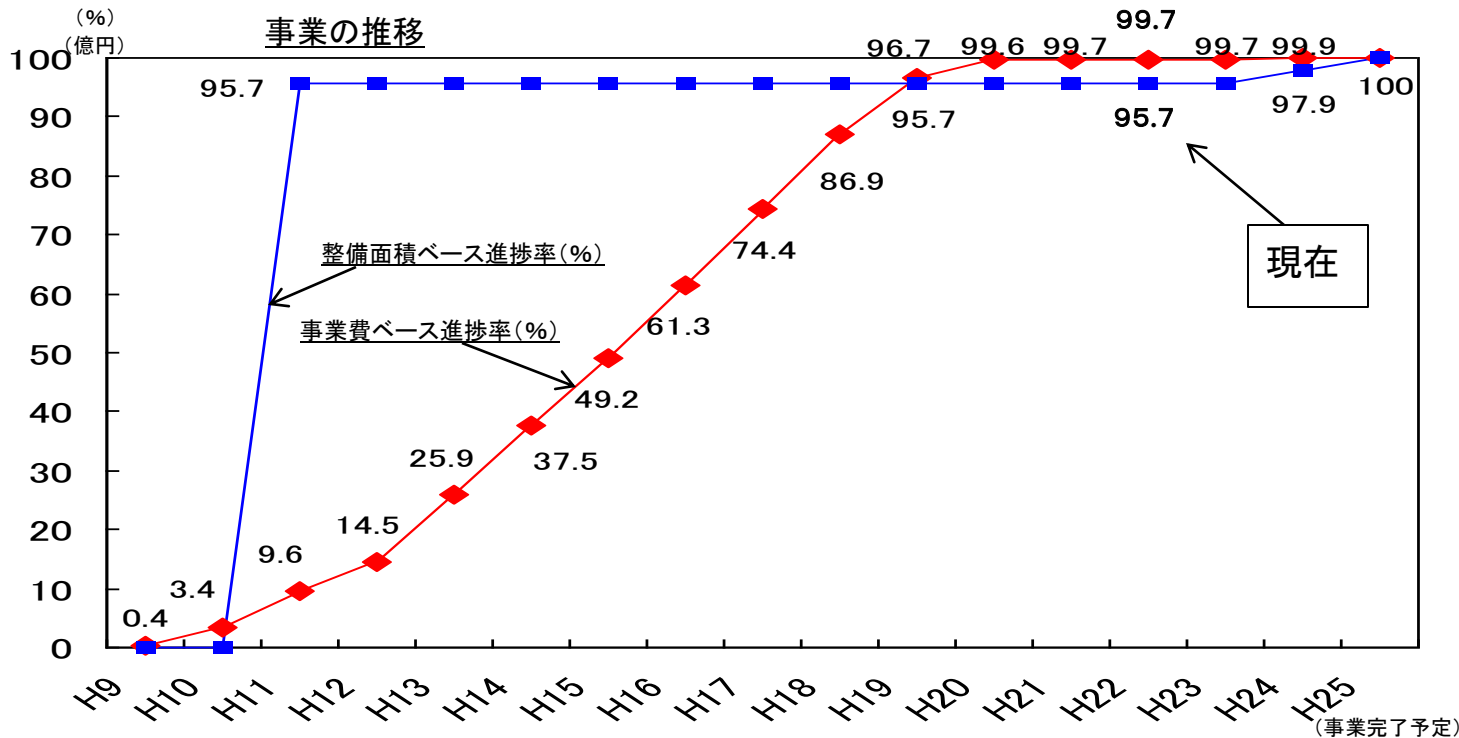
なにわルネッサンス2011における本事業の位置づけ

なにわルネッサンス2011では、「今後5年間の事業を厳選するための全庁的な検討体制を構築し、平成27年度までを目処に、事業の選択と集中を進めながら、おおむね平成22年度の公共事業費の水準以下で、公共事業の実施を図っていく」としている。

平成23年度については、22年度に比べ用地取得費等で公共事業費は増加しているが、平成17年度からは▲36%削減している。本市の財政状況は非常に厳しい状況ではあるが、今後も公園事業費を確保できるよう努めていく。



津守中央公園事業の進捗状況、今後の見込み



※整備面積ベース進捗率は・・・
整備済面積／総事業面積

※事業費ベース進捗率は・・・
執行済事業費／総事業費

現在

(事業完了予定)

残事業の内容

- ・公園整備 0.16ha

今後のスケジュール

- ・平成25年度 施設整備、事業完了

事業が遅延した原因とその状況

- ・当初の事業計画区域については、予定通り施設整備を行い、一般の利用に供している。
- ・平成16年度に都市計画変更して拡張した区域を主として、現在事業を進めている。

対応と解消の目処及びその根拠

- ・今後の残事業は残り未整備区域の公園整備であり、平成25年度に事業完了できる見通しである。

事業が遅れることによる影響

事業が遅延する理由(財政面以外)

- ・特に大きな遅延要因はなし

事業が遅延することで発生が予想される課題

(事業者の視点)

- ・市民へのサービスとして、緑豊かなオープンスペースや地域の活動や協働の取組を推進できる場が提供できない。

(利用者の視点)

- ・早期に緑豊かなオープンスペースや地域の活動、協働の取組を推進できる場としての利用ができない。



課題への対応

- ・関係先との綿密な調整を図り、円滑な事業進捗を図る。